

第9回意見交換会資料

都市計画道路浦和野田線

令和8年5月26日



埼玉県

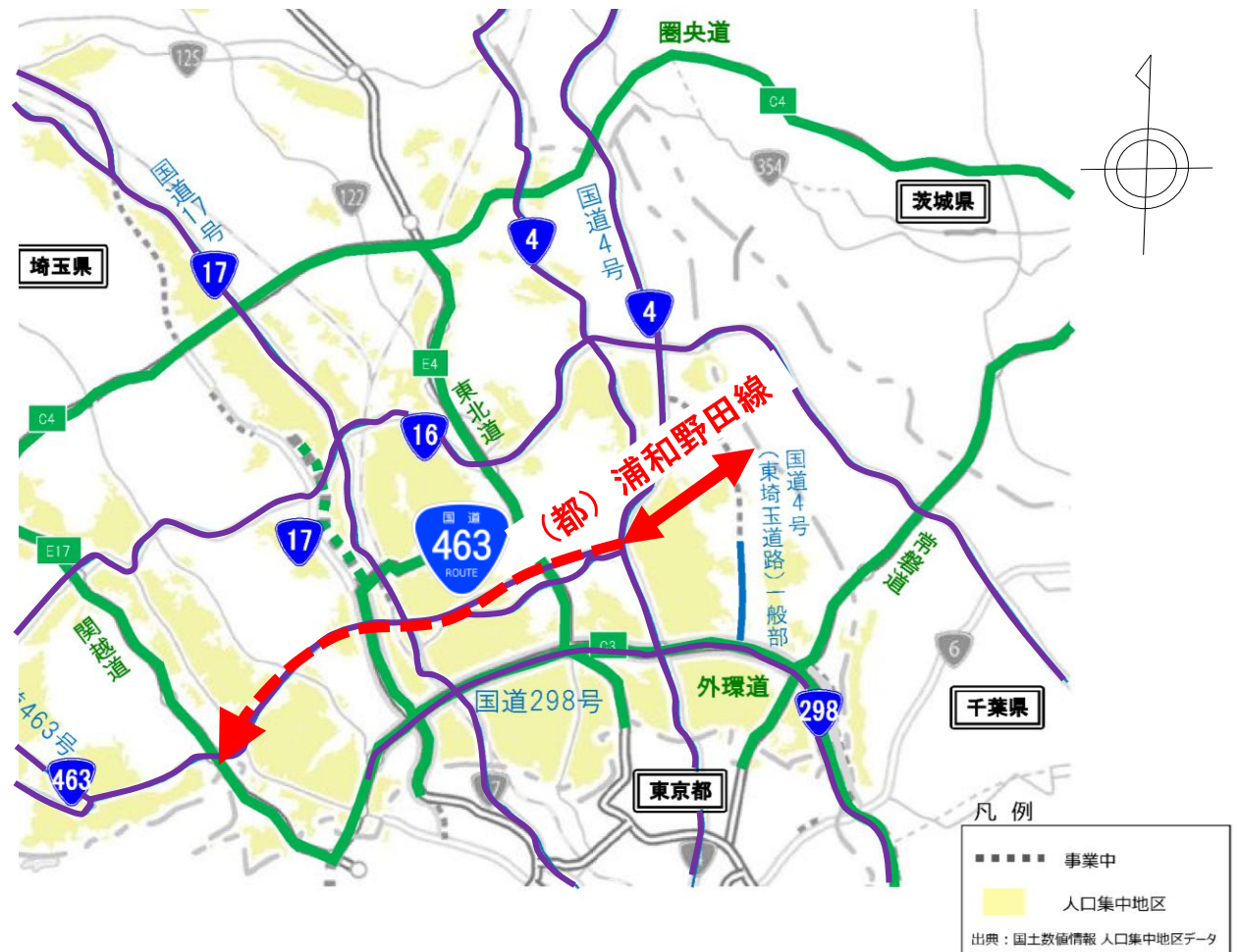
- 1 浦和野田線の事業概要**
- 2 第3回オープンハウス型説明会開催結果
- 3 令和8年度の検討概要
- 4 今後のスケジュール

浦和野田線の事業概要等

浦和野田線の役割

- ・ 埼玉県と千葉県を結ぶ広域幹線道路
- ・ 埼玉県内では国道463号と接続し、県南西部から南東部地域を横断し、外環道や国道16号を補完する骨格的な道路
- ・ 地域の人やモノの移動を支える大動脈

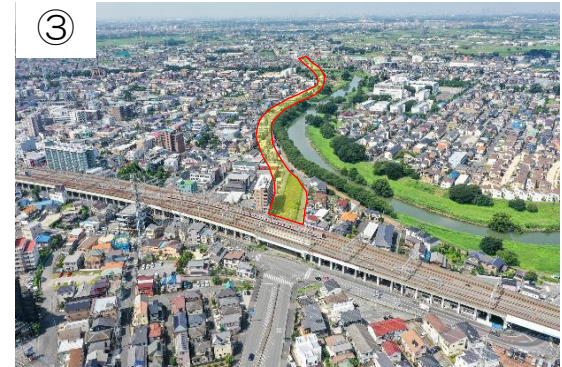
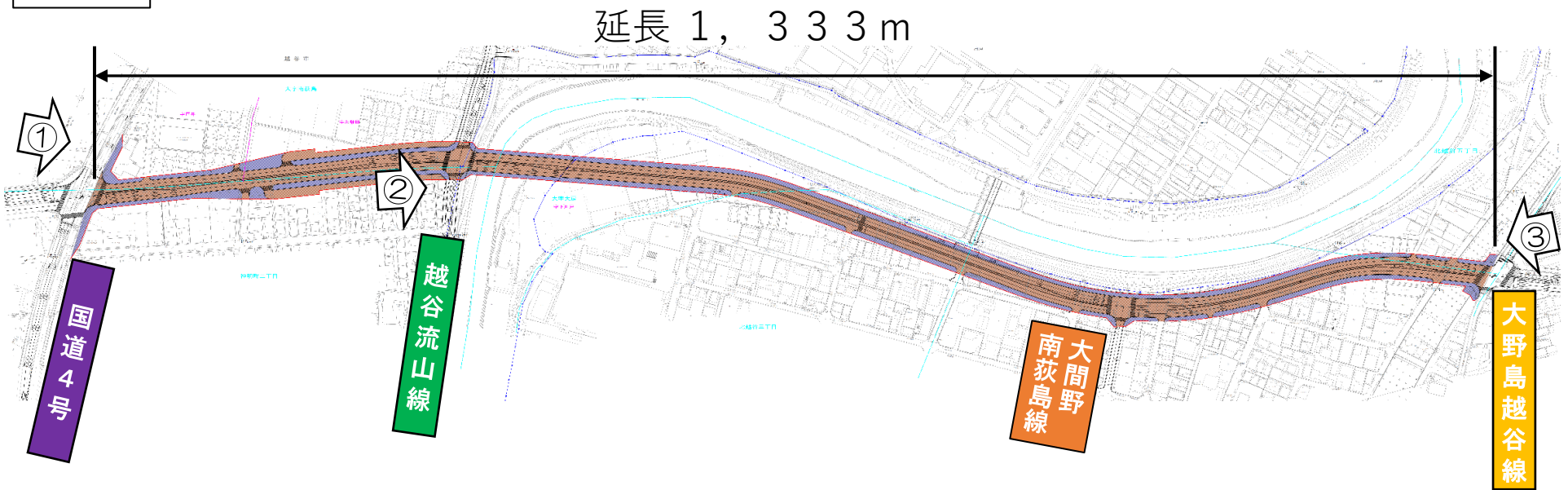
- ◇ 名称
越谷都市計画道路
3・3・3号浦和野田線
- ◇ 当初決定
昭和34年10月31日
- ◇ 最終決定
令和4年8月5日
- ◇ 起点
越谷市神明町2丁目
(国道4号・神明町(北)交差点)
- ◇ 終点
松伏町大字金杉字天神
(千葉県境・野田橋)
- ◇ 延長
約8,300m
- ◇ 幅員
25m(標準)



浦和野田線の事業概要等

浦和野田線（元荒川工区）の事業認可の区間は、国道4号から県道大野島越谷線までの1,333mの区間である。

平面図



意見交換会の趣旨

整備に当たっては、地域住民の方々からの御要望について検討し、住民の方々の御意見を伺いながら、最適な対策を決定していくこととしている。

浦和野田線の整備に関して、地元自治会や学校関係者等の地域代表者との意見交換を通じて、適切な対策案を検討していく。



御意見を可能な限り取り入れ、
生活環境や自然環境に配慮した道路整備の実施

【御注意いただきたい事項】

- この場は対策を検討していくものであって、決定するものではない。
- 最終的な対策の決定は、地域住民全体への説明を行った上で行う。

意見交換会の趣旨

地域の住民の方々から多くの御要望をいただいている以下の4つの事項等をテーマとして意見交換を行う。

生活道路の安全対策

生活道路が抜け道として使われることが無いよう、対策を図ること。

出津橋周辺の円滑な横断手法

文教大学生など現在でも歩行者・自転車交通が多い、出津橋の人流について、浦和野田線の整備による支障が出ないよう、円滑な交通が図られる対策を行うこと。

生活環境（騒音等）対策

道路に教育施設や住宅等が近接するため、騒音等の対策を行うこと。

自然環境・景観対策

自然環境や景観に配慮した道路構造とすること

- 1 浦和野田線の事業概要
- 2 第3回オープンハウス型説明会の開催概要**
- 3 令和8年度の検討概要
- 4 今後のスケジュール

第3回オープンハウス型説明会の開催概要

開催目的と開催日時・参加者など

- 浦和野田線元荒川工区の整備は、地域の方々からオープンハウス型説明会で意見を伺いながら、進めている。
- 今回（第3回）は、前回（第2回）の御意見を踏まえて再検討した「出津橋周辺の横断方法」「生活環境（騒音等）対策のうち騒音対策」について展示を行った。
- 3日間で132名の方々に御参加いただき、多くの御意見をいただいた。

日にち	実開催時間	対象地域	会場	参加者
令和8年2月13日 (金)	18:15～ 20:50	北越谷地区	北越谷地区 センター	26名
令和8年2月14日 (土)	8:45～ 11:45			41名
令和8年2月15日 (日)	8:40～ 12:00	荻島地区、 神明町 2丁目	荻島地区 センター	36名
	13:10～ 16:30			29名

【開催状況写真】



第3回オープンハウス型説明会の開催概要

アンケート調査の結果

- 参加者の半数以上の方々にアンケートを回答いただいた。（回答数：79件、回収率60%）
- 未記入項目も散見されたが、多くの御意見をいただいた。

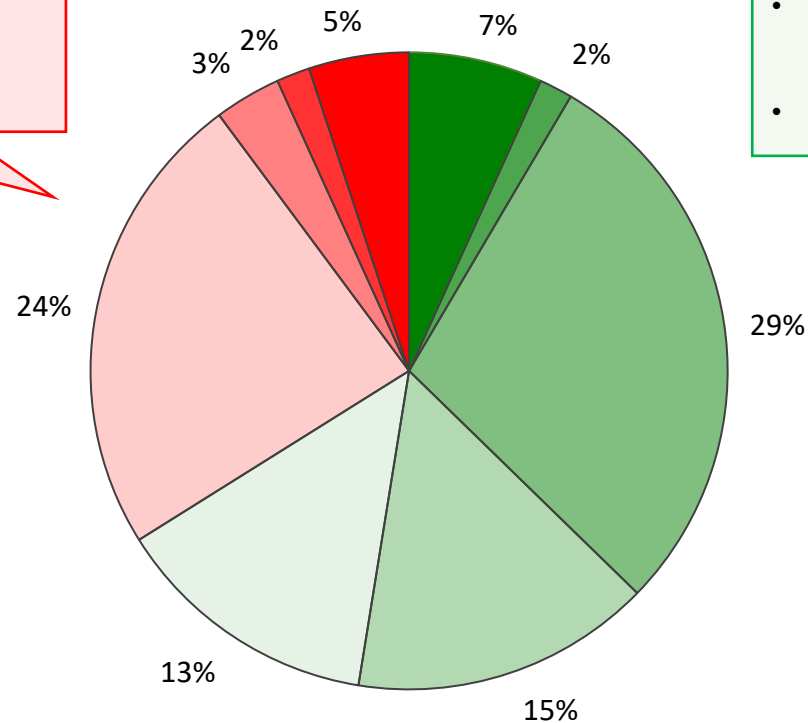
説明会全体について

- 今回の説明会について

満足度が⑤以下の方の意見（抜粋）

- 説明者が不足している
- 展示していた平面図が分かりづらい

Q：説明会満足度



満足度が⑥以上の方の意見（抜粋）

- 本事業には、車移動時の利便性および宅地内交通回避による安全性向上のため、期待している
- 要望は言えたので、出席して良かった

■⑩ ■⑨ ■⑧ ■⑦ ■⑥ ■⑤ ■④ ■③ ■②

（回答数59件）

- 歩行者、自転車及び車いす利用者は、出津橋から平坦かつほぼ直線的なルートで横断可能
- 計画道路進行方向の勾配は緩やかであるため、通行車両や歩行者等は高低差を感じにくい
- 計画道路と北越谷地区側で段差が生じるため、スロープや階段による移動が必要となり、市道50408号線から車両の出入りはできない（案1（横断歩道橋）と比較してスロープや階段の高低差は半分以下）

整備イメージ



表示している内容は素案であり、確定していることではない

- 令和5年度の第1回オープンハウス型説明会において、横断歩道橋形式の立体横断施設を複数検討し、地域の皆様に御覧いただきました。
- 御覧いただいた結果、「高齢者等が安全に時間をかけずに横断できるような構造としてほしい、新しい橋を架橋してほしい」等の様々な意見をいただきました。
- それらの意見を考慮し、河川や道路の構造的な制約を踏まえた上で、安全性、利便性に最大限配慮した横断手法を複数案検討しました。

案1 横断歩道橋を利用して道路を横断



【概要】

- スロープにより、**車いすや自転車利用者も横断可能**。
- 冠水や渋滞の発生する可能性が低く、**道路利用者や歩道利用への影響が少ない**。
- 車いすや自転車利用者はスロープで横断するため**現状よりも距離が長くなる**。

案2 道路を半地下構造にして道路上を直線的に横断



【概要】

- 歩行者と自転車利用者は、**現状と概ね変わらない直線的なルートで横断可能**。
- スロープが設置されていないため、**車いす利用者は前後の横断歩道へ迂回して横断する必要がある**。
- 車道が大雨時に冠水する可能性があり**、道路利用者への影響が大きい。

案3 道路と出津橋を連続して横断できる位置に横断歩道を設置 ※交通安全上実施しない



【概要】

- 歩行者は、出津橋前から**概ね直線的な移動が可能**。
- 出津橋と道路に高低差があるため、**車いすや自転車利用者は前後の横断歩道へ迂回して横断する必要あり**。
- 信号付き横断歩道が増えることで、**通行車両の渋滞発生や歩行者の信号待ちが発生する可能性がある**。
- 信号灯器の誤認のおそれがある**。

※「信号機設置の指針」における信号機設置のための必要条件（隣接信号機との距離が原則150m以上離れていること）を満たさない

案4 元荒川に新設橋梁を設置し、河川横断箇所を増やす



【概要】

- 元荒川を渡る利用者が2橋に分散されるため、**歩道の混雑緩和が期待される**。
- 新設橋梁と道路との段差は比較的小さいため、**歩行者と自転車利用者は利用しやすい**。
- 車いす利用者は、新設の橋から直線的に横断できない**。
- 出津橋利用者は、**前後の横断歩道へ迂回して横断する必要がある**。
- 近接して2橋を架橋することは、**関係機関との協議に課題があり、実現は困難である**。

案5 案4のうち、下流の1橋のみ設置



【概要】

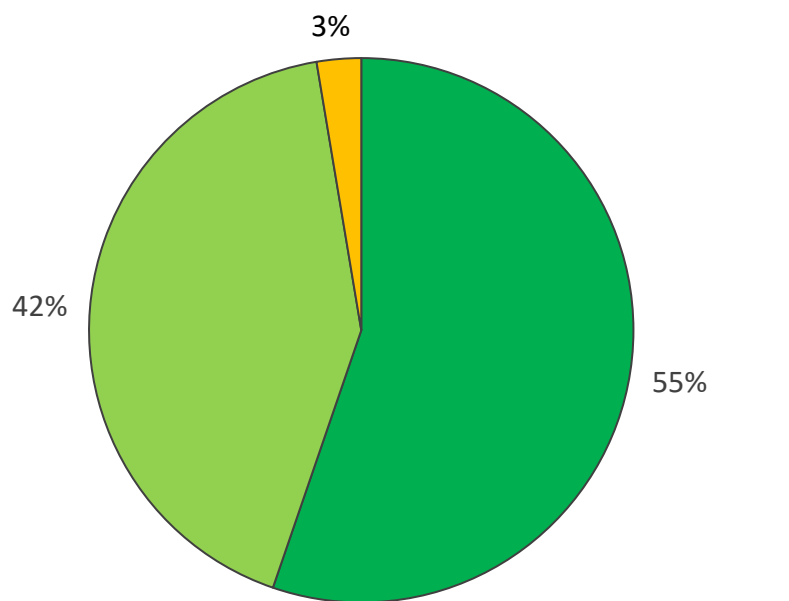
- 案4の課題を解消するために架橋位置を変更した案。
- 現在の出津橋よりも幅員を拡張できれば、**歩行者、自転車及び車いす利用者の通行は良好**となる。
- 隣接信号機との距離が150m以上となる位置に横断歩道を移動し、北越谷駅方面へ向かうルートを改善。
- 出津橋から直線的な横断はできない**。
- 出津橋の架橋位置を変更するにあたって、**関係機関との調整や地元との合意形成が必要となる**。

第3回オープンハウス型説明会の開催概要

道路横断手法について

- 9割以上の方が道路横断手法に関心・非常に関心があると回答。
- 関心・非常に関心があると回答した方のうち、約8割の方に理解いただけた。

Q：道路横断手法について関心がありますか。

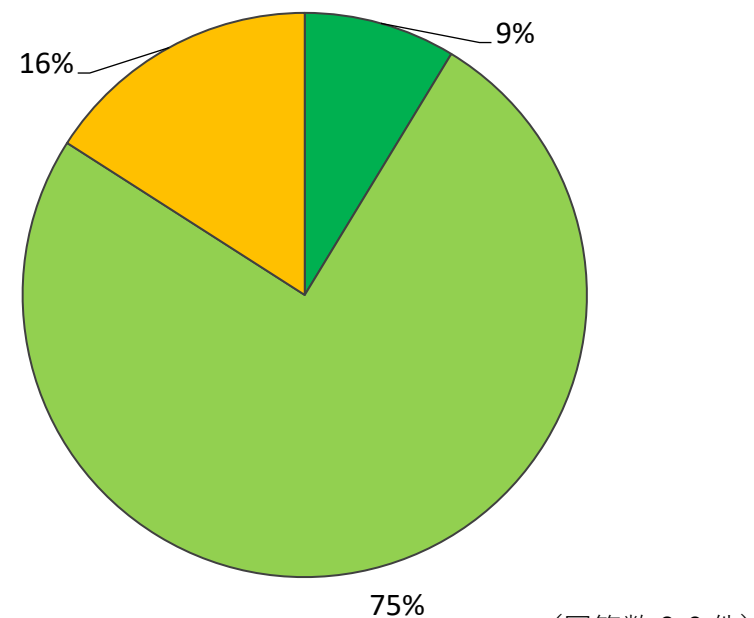


(回答数 76件)

■ 非常に関心がある ■ 関心がある ■ あまり関心がない

Q：説明の内容は理解できましたか。

(関心があると回答した方のみ抽出)



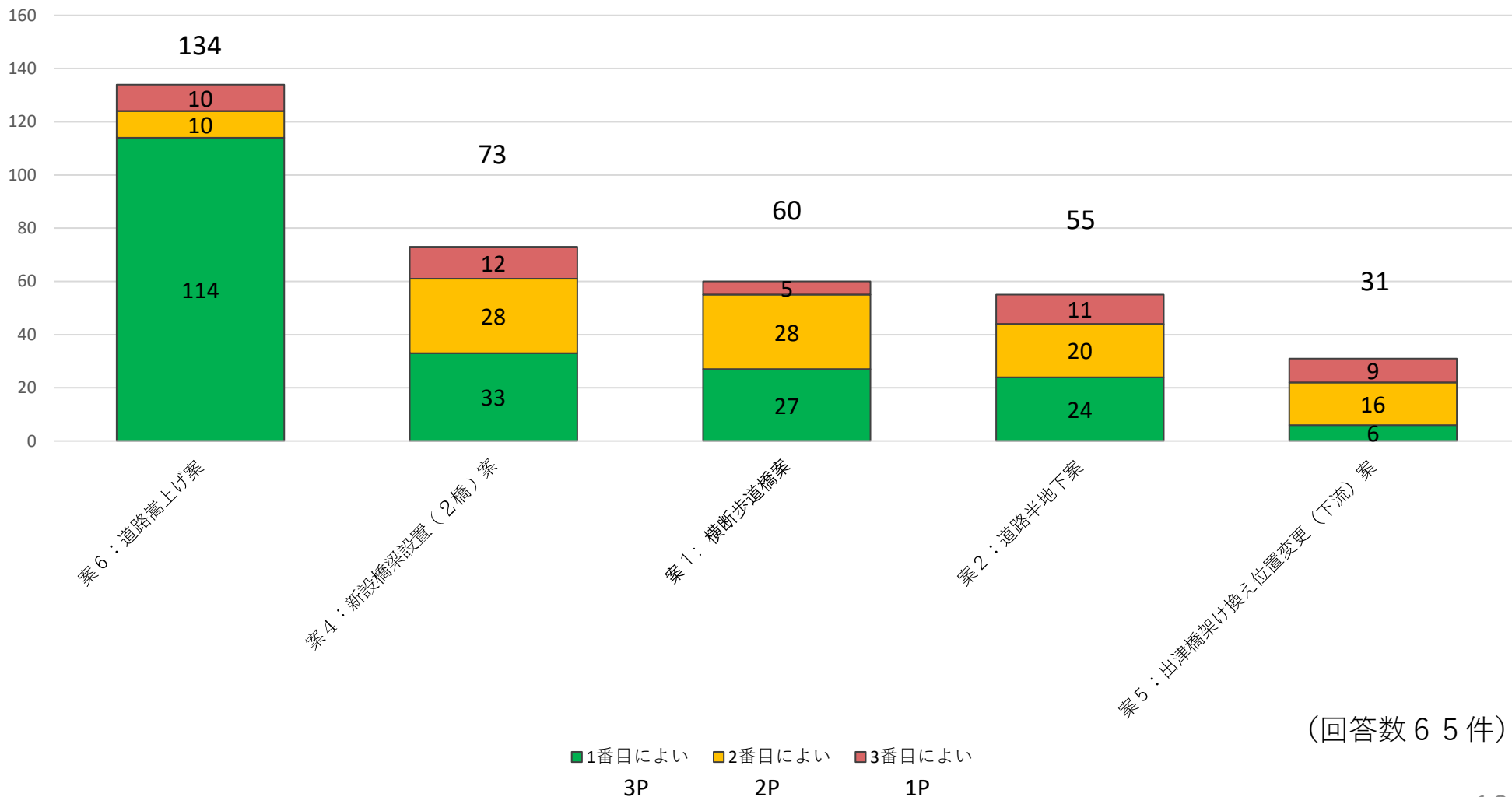
(回答数 69件)

■ 非常に理解できた ■ 理解できた ■ やや理解しづらかった

第3回オープンハウス型説明会の開催概要

道路横断手法について

- 各検討素案に対し、よいと思った順番に3つ回答していただき、順番に応じたポイント付けをして集計した。(1番目:3P、2番目:2P、3番目:1P)
- 結果、最も高い点数は案6であった。



※アンケートに回答いただいた方だけの意見であり、参加者全員の意見が反映されているものではない。

第3回オープンハウス型説明会の開催概要

道路横断手法について

- そのほかの検討素案を1番目に良いと回答した方々も含めて、約6割の方が案6（道路嵩上げ案）は良いと回答した。
- 一方、悪いと回答した方は1割。

Q：案6（道路嵩上げ案）についてどう思いましたか。

悪い・大変悪いと回答した方の意見（抜粋）

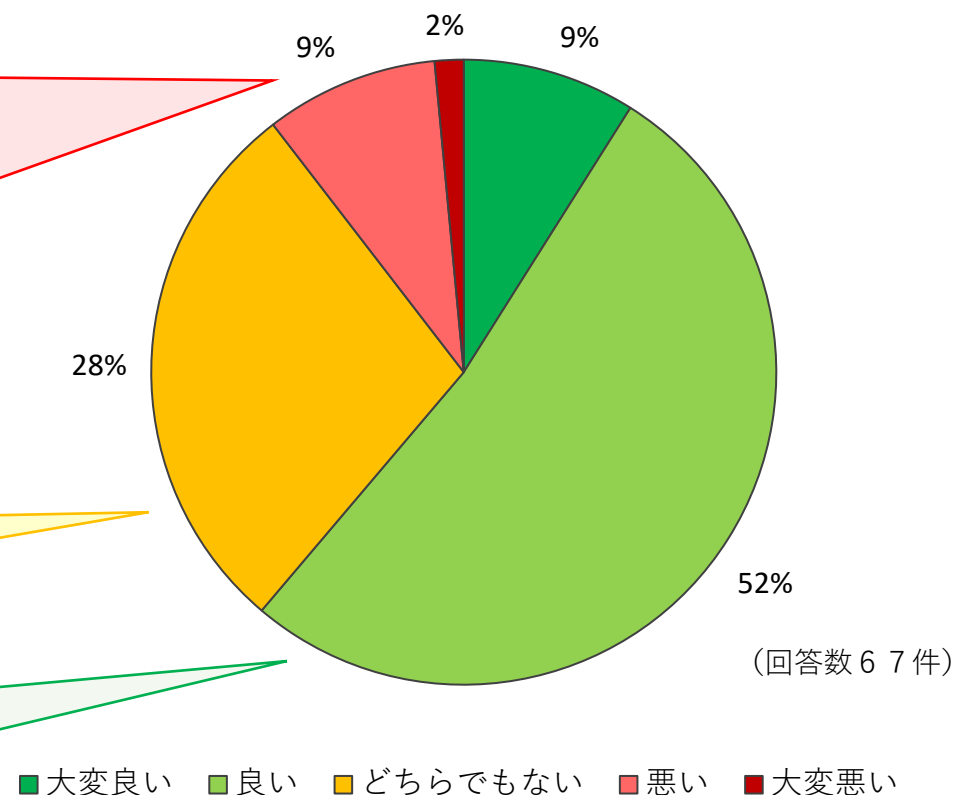
- （案1が1番目に良いと回答した方）
 - とにかく信号は少なめにするべき。
 - 信号で車が停車すればその分騒音、周辺に排気ガスが漂う。
- （案2が1番目に良いと回答した方）
 - 年配者の多い荻島地区が、安全に簡単に北越谷駅に向かう方法をもっと考えて貰いたい。
- （案5が1番目に良いと回答した方）
 - スロープ&歩道橋は傾斜を考えると反対。

どちらでもないと回答した方の意見（抜粋）

- これまでの（直線的な）動線を守ってほしい。

良い・大変良いと回答した方の意見（抜粋）

- 嵩上げ案は良いと思う。
- スロープで降りることはよいが、直線かL字が良いと思う。

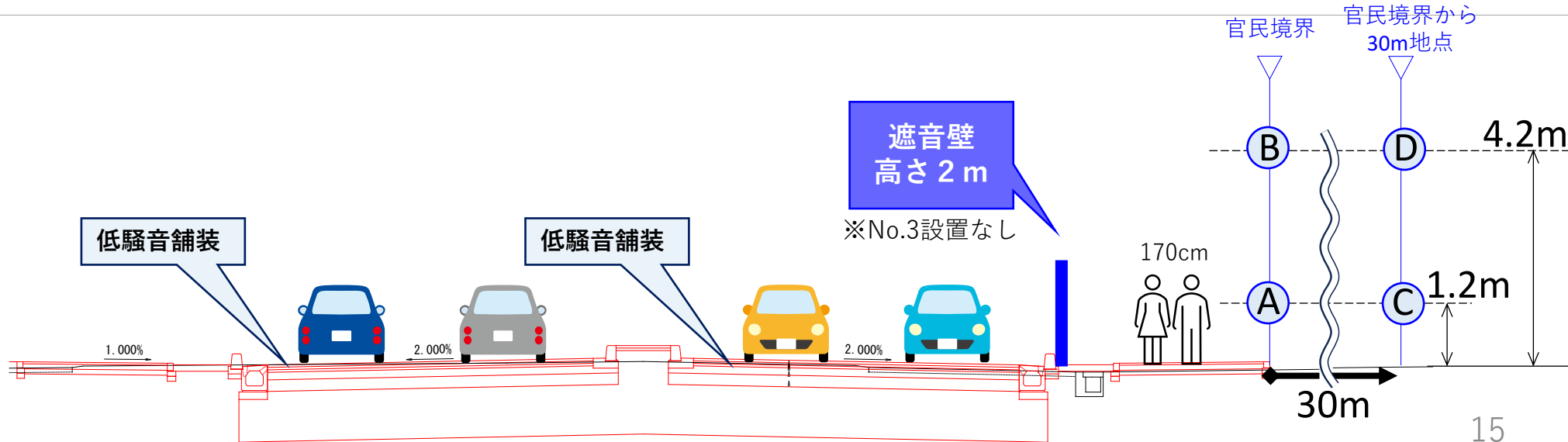


令和7年度の検討内容（生活環境（騒音）対策）説明会資料

「歩車道境界」に遮音壁を設置した場合の騒音予測結果

- 高さ2mの遮音壁を「設置箇所図」のとおり設置することで、各予測地点で環境基準値を下回った
- なお、No.3は遮音壁がなくても環境基準値を下回った

遮音壁設置箇所図

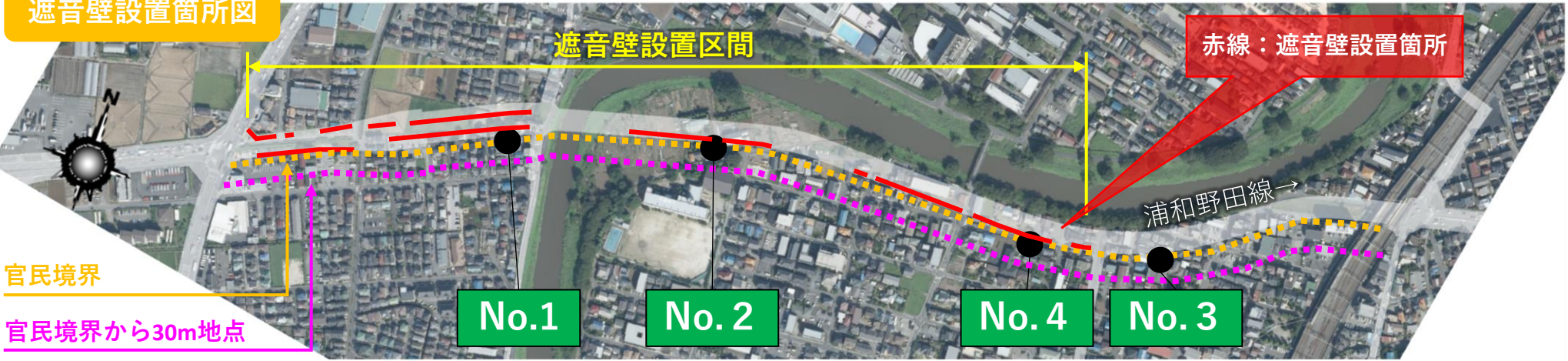


令和7年度の検討内容（生活環境（騒音）対策）説明会資料

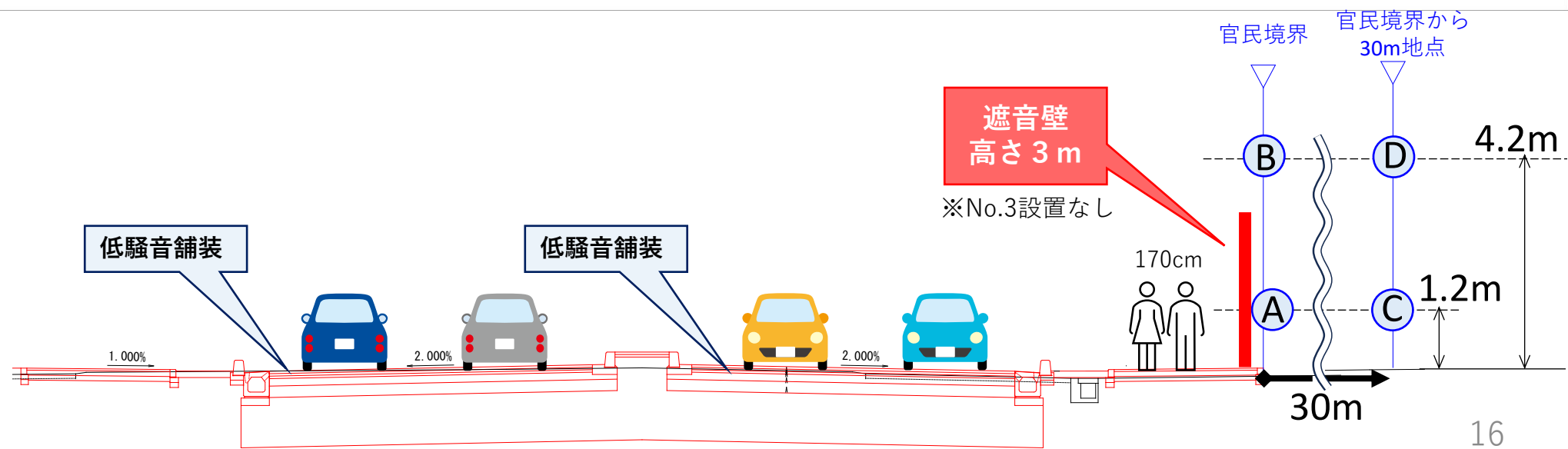
「官民境界」に遮音壁を設置した場合の騒音予測結果

- 高さ3mの遮音壁を「設置箇所図」のとおり設置することで、各予測地点で環境基準値を下回った
- なお、No.3は遮音壁がなくても環境基準値を下回った

遮音壁設置箇所図



官民境界
官民境界から30m地点

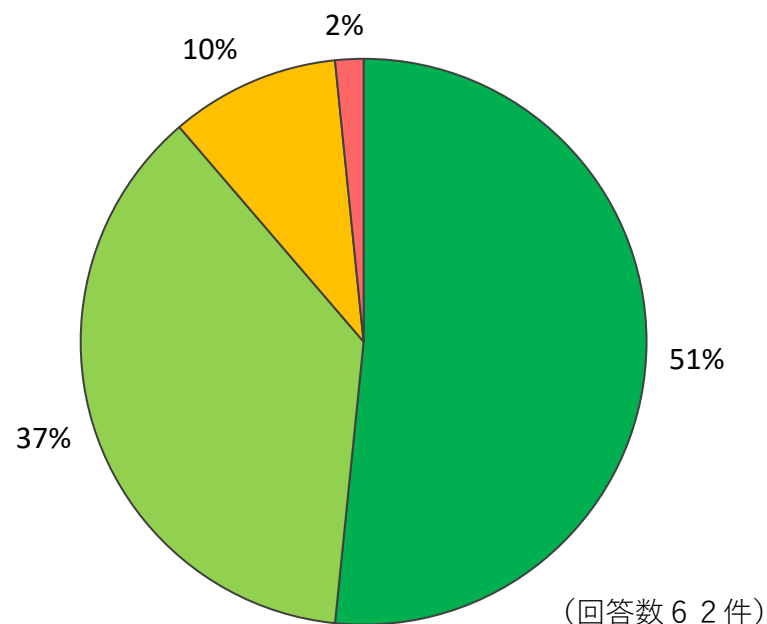


第3回オープンハウス型説明会の開催概要

騒音対策について

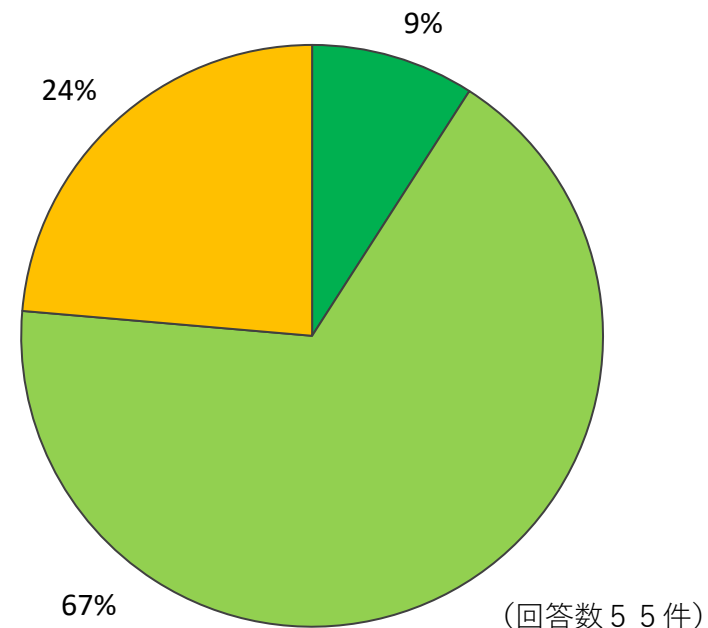
- 約9割の方が騒音対策に関心があると回答。
- 関心・非常に関心があると回答した方のうち、約8割の方に理解いただけた。

Q：騒音対策について関心がありますか。



Q：説明の内容は理解できましたか。

(関心があると回答した方のみ抽出)



■ 非常に関心がある ■ 関心がある ■ あまり関心がない ■ 全く関心がない

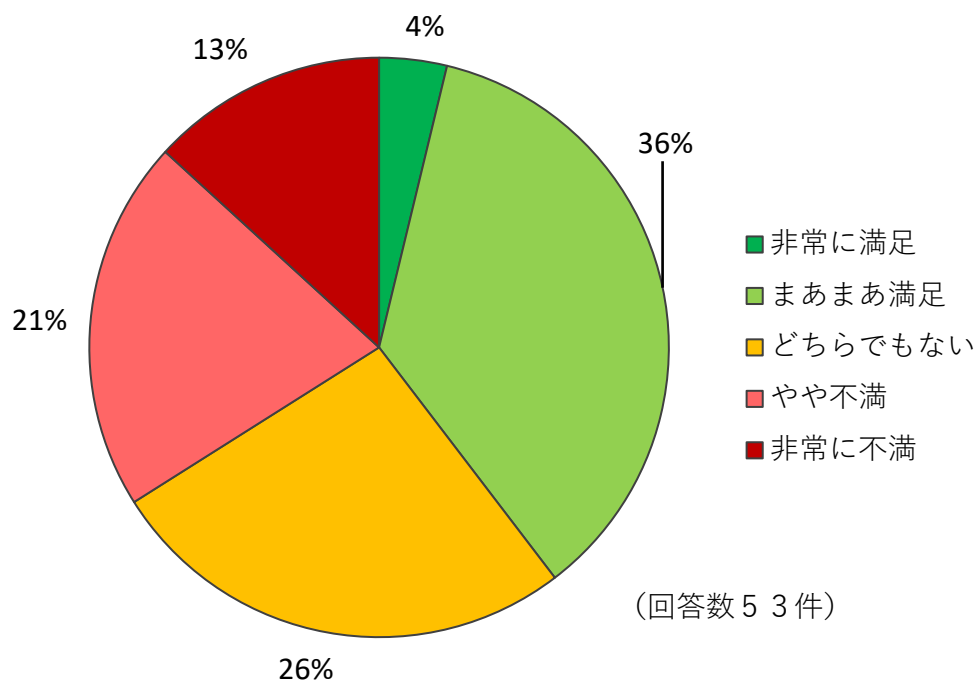
■ 非常に理解できた ■ 理解できた ■ やや理解しづらかった

第3回オープンハウス型説明会の開催概要

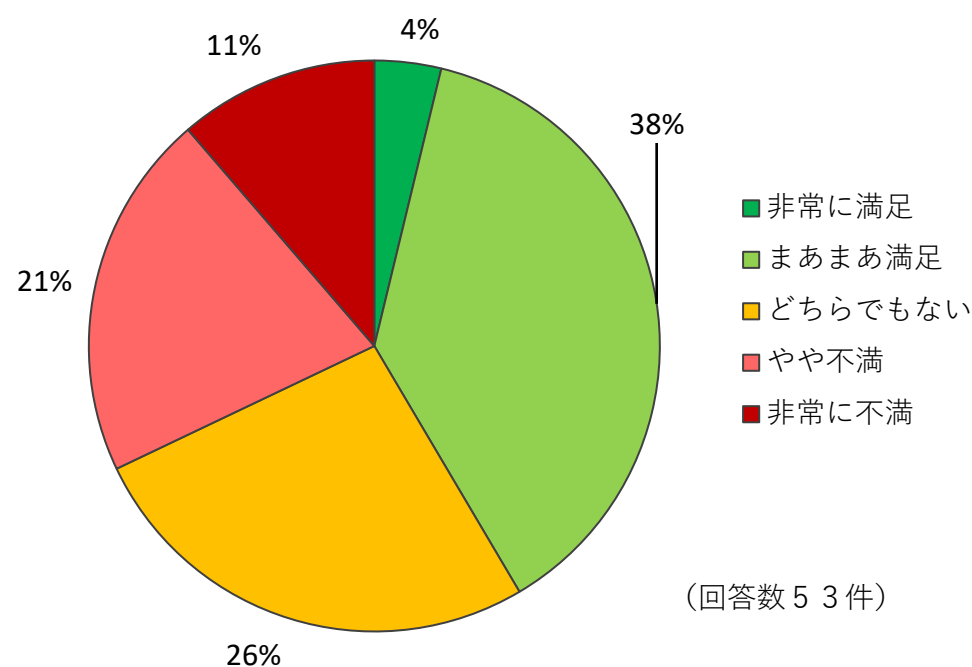
騒音対策について

- 提示した騒音対策を2案提示したところ、いずれも約4割の方は検討内容に満足だったが、約3割は不満との回答。

Q：歩車道境界に高さ2mの遮音壁
(騒音対策に関心があると回答した方のみ抽出)



Q：官民境界に高さ3mの遮音壁
(騒音対策に関心があると回答した方のみ抽出)



不満と回答した方の意見 (抜粋) ※理由の記載がない方が最も多かった

- 用途地域の違いに限らず遮音壁を設置してほしい。
- 現状と比較した結果が分からない。
- 対策内容に満足できない。今の生活環境と同等の騒音レベルを求める。

第3回オープンハウス型説明会の開催概要

御意見の概要（抜粋）

いただいた御意見から主な意見を抜粋及び一部要約したものです。全ての御意見を御覧になりたい場合は、越谷県土整備事務所WEBサイトに掲載している「御意見・御質問一覧」を御確認ください。



御意見・御質問一覧

< 1 出津橋周辺の横断手法 >

● 案6に関する意見

- ・ 嵩上げ案はよいと思うが、スロープの線形を直線かL字にした方が通行しやすい。
- ・ 車イス、高齢者等交通弱者には勾配がきつく距離も長くなり厳しいため、改善を求める。
- ・ 歩道橋もよいが、毎日利用することを考えると案6がよいと感じた。
- ・ 嵩上げすると低い方に水が流れる。北越谷地区は水が溜まりやすいため、道路の排水設備を徹底してほしい。

● その他横断手法に関する意見

- ・ 出津橋を2橋架ける案（案4）は、人の流れを分散させ、出津橋の混雑を緩和させる案と考えている。
- ・ どこかで妥協点を見つけなければ前に進めない気がする。多少の不便さは受け入れられる範囲なら仕方ない。
- ・ 朝夕のピーク時や文教大学生が多い時間は、大間野南荻島線や出津橋付近の信号待ちする車両が多くなりそう。

第3回オープンハウス型説明会の開催概要

御意見の概要（抜粋）

いただいた御意見から主な意見を抜粋及び一部要約したものです。全ての御意見を御覧になりたい場合は、越谷県土整備事務所WEBサイトに掲載している「御意見・御質問一覧」を御確認ください。



御意見・御質問一覧

< 2 生活環境対策（騒音） >

- No.3も他の地点と同様に遮音壁を設置してほしい。（同じ北越谷地区内で対策方法に差をつけないでほしい）
- 出津橋周辺の横断手法で提示された案6のように道路が嵩上げされた場合の騒音予測結果が知りたい。
- 騒音対策として効果の高い対策を行ってほしいので、歩車道境界に高さ2mの遮音壁を設置してほしい。
- 官民境界に高さ3mの遮音壁を設置する案は、住宅のすぐ横にグレーの遮音壁でプライバシーに配慮しつつ、見通しを確保するため接道箇所を透明板としている点はよいと思った。
- 歩車道境界に遮音壁を設置する場合であっても上半分が透明ならば、歩行者等を視認しやすく感じてほしい。
- 「騒音体感」の3パターンは、交通量、特に大型トラックの通過の有無が大きく異なっており、参考にならなかった。

第3回オープンハウス型説明会の開催概要

御意見の概要（抜粋）

いただいた御意見から主な意見を抜粋及び一部要約したものです。全ての御意見を御覧になりたい場合は、越谷県土整備事務所WEBサイトに掲載している「御意見・御質問一覧」を御確認ください。



御意見・御質問一覧

< 3 越谷流山線 >

- 浦和野田線と越谷流山線との交差点の北側の交差点について、信号を撤去するのは反対である。小学生を含め出津地区の人間にとって必要な信号交差点である。

< 4 その他 >

- 自宅前に信号機が設置されると、停車する車両の排気ガスの影響を受けるのではないかと心配である。
- 案6のように道路を嵩上げた場合、近隣の家屋への振動が増えないか。
- 北越谷地内から浦和野田線に車が入り可能な交差点が1箇所しかないため、大間野南荻島線との交差点が大変混雑すると考えられる。東武スカイツリーライン下の1本西側と北越谷小学校の東側の2箇所は、車の通行を可能にして大間野南荻島線との交差点の混雑を少しでも緩和してほしい。
- 排ガス対策として、どのような樹種を、どの程度の範囲で整備するのか。
- 出津橋付近において、緊急車両を除き、生活道路への車両の流入流出はしてほしくない。

- 1 浦和野田線の事業概要
- 2 第3回オープンハウス型説明会の開催概要
- 3 令和8年度の検討概要**
- 4 今後のスケジュール

出津橋周辺の横断手法

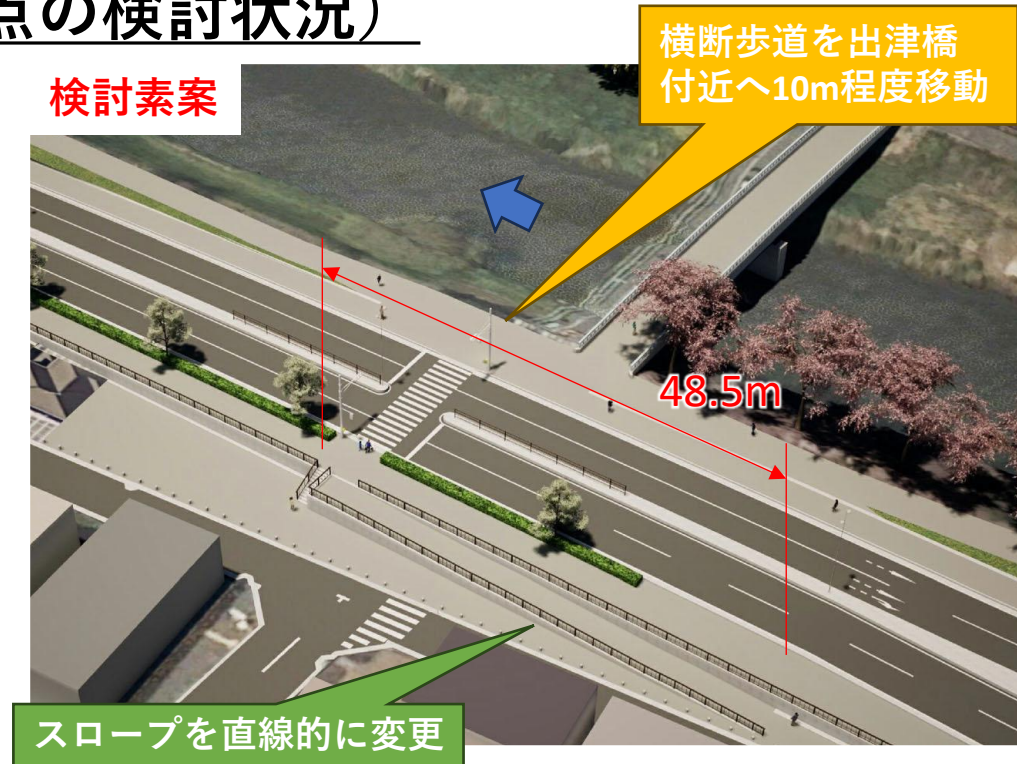
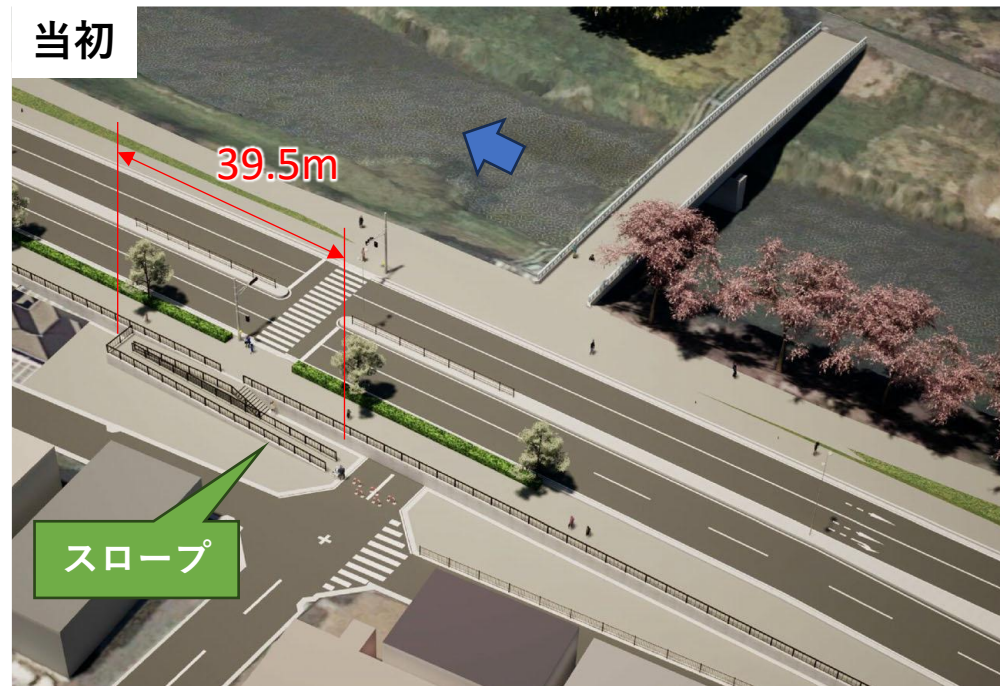
- 案6（道路嵩上げ案）において、より利便性に配慮した形状の検討を行う。
- 第3回オープンハウス型説明会でいただいた御意見・御質問を踏まえ、対策案の選定に向けた整理を行う。（検討素案を絞込み、素案の比較検討など）

生活環境（騒音等）対策のうち騒音対策

- 案6（道路嵩上げ案）のように、道路を嵩上げした場合に必要な騒音対策の検討を行う。
（平坦な道路における騒音対策の検討結果は、第3回オープンハウス型説明会で提示済み）

令和8年度の検討状況

出津橋周辺の横断手法（R8.5時点の検討状況）



スロープに関する変更点

	形状	延長	幅員	勾配
当初	コの字	39.5m	2.0m	5%
変更	直線	48.5m	3.5m	5%

※着地点の地盤高さの違い等によりスロープ延長は異なる

表示している内容は素案であり、確定していることではない

令和8年度の検討状況

当初



検討素案



当初



検討素案



表示している内容は素案であり、確定していることではない

- 1 浦和野田線の事業概要
- 2 第3回オープンハウス型説明会の開催概要
- 3 令和8年度の検討概要
- 4 今後のスケジュール**

今後のスケジュール（案）

御要望事項への対策（素案）の提示

オープンハウス型説明会

対策（素案）の再検討・関係者協議

地元代表者や学校関係者等との意見交換会

意見の集約（アンケートの実施等）

対策案の選定

地元住民等への説明

対策方法の決定

道路整備に併せた対策の実施

これまでの実施状況

令和5年度

意見交換会（3回開催）

第1回オープンハウス型説明会

令和6年度

意見交換会（3回開催）

第2回オープンハウス型説明会

令和7年度

意見交換会（2回開催）

第3回オープンハウス型説明会

令和8年度の実施予定

R8.5.26 第9回意見交換会

R8.秋～ 第10回意見交換会

第4回オープンハウス型説明会

【事業全般に関すること】

埼玉県越谷県土整備事務所 道路施設担当

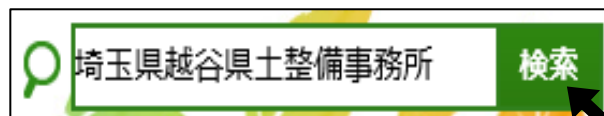
〒343-0813 越谷市越ヶ谷4-2-82

TEL : 048-964-5223 FAX : 048-960-1530

MAIL : g645221e@pref.saitama.lg.jp

ホームページ : <http://www.pref.saitama.lg.jp/soshiki/b1011/index.html>

PC用



クリック

モバイル用

